

関根木材工業(株)
代表取締役社長 関根 健裕

南会津産
きのきほん
目利製材
SEKINE
MOKUZAI

せぎねもくざい
その土地で育った木は、
その土地で使うのが
きのきほん。
創業昭和27年。
メイドイン南会津の
材木屋です。



「一本」から
「一棟」まで
関根木材工業株式会社



南会津型ハウスメーカー

FORESTA

南会津の森林で建てる家

木とともにある暮らし





「森林と地域」

林業は木を育てるのではなく、森を育てる仕事だといわれます。最初は苗木を密に植え、下草刈りや枝打ち、間伐を定期的に繰り返すことで森林の適正な環境が維持され、その結果として良材となる木が育つのです。このように手入れが行き届いた山は多様な生命を育み、治水力にもすぐれています。健やかな山は、伐り出した良材が適正に使われてこそ維持できます。木の家を建てることは快適な住まいを手に入れると同時に、「森づくり」にも関わっているのです。

「正真正銘の木の家」

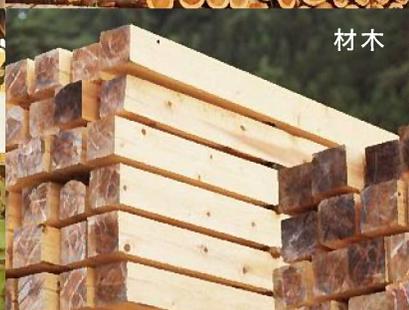
山の木は周辺の環境に適応して育ちます。豪雪地方の南会津で育った木は粘り強く、家の部材となっても雪の重みに耐えます。また、この地方特有の腐朽菌への耐性も備えています。近くの山の木で建てることは、気候風土に合った家づくりなのです。私たちの家づくりに使う材は、木そのままの無垢材です。一方、細かい板状にした木を接着剤で貼り合わせた集成材も日本国内に普及しています。無垢材と集成材、それぞれを使った空間にしばらく身を置いていると違いがわかってきます。無垢材の家は集成材のような細かい継ぎ目がないから視覚的に落ち着き、木特有

「木を材に変える製材」

「木は反ったり曲ったりするのが当たり前」「節や割れも味のうち」。日本の山の木を使う家づくりが見直され始めた頃によく言われたことです。しかし、あまりにラフな家は住む人のストレスにつながります。木は工業製品のように均一な性質ではないため、性質を見極めて加工する技術が欠かせません。用途に応じて木を活かせるように選別する、節が表面に出ないように挽く、しっかりと乾燥させて割れを防ぐ……。 「木」を安心して使える「材」にするのが製材という仕事なのです。

「木を活かす大工技術」

今、日本の家の90%近くは、工場で部材を刻むプレカット加工がされています。しかし、私たちの家づくりは、あえて「速い、安い」に背を向け、大工の手刻みに徹しています。木には一本一本個性があります。素人目にはわからない木のクセを読み取りながら木組みを考える墨付・刻みは、いわば木と対話する時間。適材適所に使うことは家の耐久性に関わります。手刻みの家を建てることは、大工技術を後世に伝える意味もあり、さらに後々まで家のメンテナンスしてくれる人を確保することにもつながります。また、遠くのプレカット工場などに運ぶ



木の家だからできる暮らしがあります。



「構造材」

大工は、「木は生えていた時の性質のまま使え」といいます。柱には通直な木を、重さに耐える梁にはねばりのある木を。それが適材適所ということなのです。

木の性質を見極め選別する力は大工だけのものではなく、林業や製材の現場でも欠かせません。

工業化住宅とは一線を画す家づくりの自負とともに、地域のものづくりの環の中で手から手へとバトンタッチされていきます。

木の家らしい木の家を想像すると、洗練されていないイメージが浮かぶかもしれません。しかし、木は使い次第でインテリアの主役になります。というのは、木は木のままで実に表情豊かなのです。木の色や木目の表情は、樹種はもとより一本の木でも部位によって異なります。また、清々しい無節の材もあれば、風格のある節がアクセントになる材もあります。木を活かすセンスを持った設計の力で、クロスやファブリックを多用するよりも端正で趣のある室内になります。





1



2



3

1 スギの外壁に木をアクセントとして使っています。和のテイストが強い家ですが、白のサイディングと木のバランスをうまく取ることでモダンな印象を与えます。

2 スギのフローリングに広葉樹のテーブルを取り合わせたダイニング。白を基調としたコンパクトな室内で、木が存在感を発揮します。

3 子どもは自分の周囲からたくさんことを吸収して育ちます。子ども部屋に木を多用することで、本物の木の温もりや傷つきやすさに触れ、木との付き合い方を学んでいきます。

4 ベランダや軒裏、窓枠にも木を使った家。外部に木を使っても、こまめなメンテナンスを欠かさないことで、長持ちさせることができます。

5 あっという間に成長する子どもを、木の空間が育みます。木製の机や椅子には、大きくなった時に思い出がしみ込んでいるはず。愛着のある空間と家具になるでしょう。



4



5

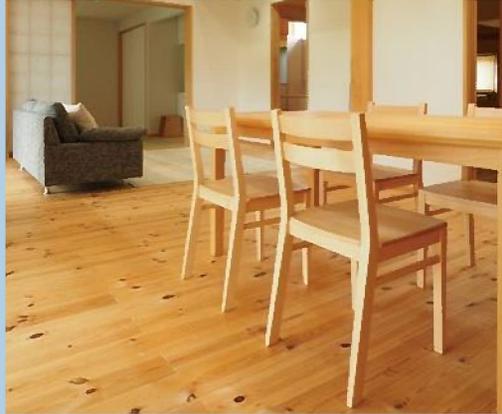
南会津の木を、家具にも小物にも。

家具

南会津が誇る木工技術と、グッドデザイン賞に輝くデザインセンスが融合したオーダーメイド家具。



ダイニングテーブル



ダイニングチェア



カウンターチェア

小物



KOF コフ (スリッパラック)

- ・素材 / パーチプライウッド
- ・カラー / ナチュラル、ブラウン



HOUSE ホース (バスチェア)

- ・素材 / ひのき
- ・カラー / ナチュラル



TSUBAKI ツバキ (木製カップ)

- ・素材 / パーチプライウッド
- ・カラー / 青、赤、白、緑、ナチュラル

多彩な表情の樹種を選べるフローリング



スギ

樹皮に近い辺材の部分は淡黄色、芯に近い部分は淡紅色から黒褐色まで色の幅が大きい木です。いずれも日本人の肌色になじむ色といわれ、昔から床材に多用されてきました。スギの床材を使用した室内は、どちらかという和風で素朴な印象になります。スギはとても柔らかい木で、感触は暖か。さらっとした肌触りは畳に通じるものがあります。



ナラ・広葉樹

ナラやタモ、クルミなどの広葉樹材は、樹種によって個性的な木目が魅力です。広葉樹は山地に自生し、床材が採れるほどの大きさに育つには数十年から100年以上かかります。広葉樹は一般に硬く、重厚感があります。中でも欧米では「森の王様」と呼ばれるミズナラは、年輪が明瞭で力強い木目をしており、高級材として珍重されてきました。

薪

さまざまに姿を変えて私たちの暮らしになじむ木。最後は燃料として使い尽くす。



薪ストーブ



薪



ROTHKO ロツコ (お盆)

- ・素材 / メイプル、シナプライウッド
- ・カラー / 青、赤、緑



NOE ノエ (積み木)

- ・素材 / パーチプライウッド
- ・カラー / ナチュラル



FAVA ファーヴァ (ファーストイ)

- ・素材 / パーチプライウッド
- ・カラー / ナチュラル、カラー、グリーン



クリ

クリは縄文時代から建築や道具の材料として使われていた、日本人になじみの深い広葉樹です。材質は硬く、耐水性に優れ、腐りにくいとされています。はっきりした力強い木目が特徴で、はじめは灰色がかった地味な色をしています。時間が経つほどに艶やかな色に変化していきます。オイルや拭き漆を施すと、さらに美しく高級感が増します。



カラマツ

スギやヒノキと同じ針葉樹ですが、その中では比較的硬さがあり、スギなどに比べると傷がつきにくい材です。樹脂成分が多く、耐水性に富んだ性質を持っています。色は赤みがかった艶やかな表情です。樹齢を重ねたカラマツは黄金色の緻密な木目で、高級材として珍重されています。床材に使用した室内は洋風の雰囲気になります。



平成28年設立。南会津町の製材加工事業者と工務店17社を構成員とする。森林認証材の利活用とそれを用いた一般木造建築の施工数向上を目指す。業種を超えた事業者で組む全国初の森林認証地域一貫組織である。東京五輪関連施設への木材供給を目指し、PR活動や関係者への情報提供を行っている。また大手ハウスメーカーによる地域参入が近年大きく目立ち、地域の工務店の建築物件数は全体の2割程度と低迷している。そこで、当協議会による「南会津型ハウスメーカー」の設立による、地域産材の地産地消と工務店の受注促進、ハウスメーカーへの対抗策を提案している。

適切な森林経営を実践している森林や活動組織を評価し、その第三者機関より認証を得る制度。そこから産出・生産される木材や林産物は、認証マークを付して販売することができる。森林から消費者の手元に認証マークのついて商品（家や家具、林産物など）が届くまでの各段階に関与するものは、事業者として登録しなければならない。

 <p>NPO法人 みなみあいづ 森林ネットワーク</p> <p>素材生産</p>	 <p>山星林業 株式会社</p> <p>素材生産</p>	 <p>株式会社 はりゅうウッド スタジオ</p> <p>計画・設計</p>	 <p>有限会社 星商店</p> <p>製材</p>
  <p>有限会社 伊南川木材</p> <p>製材 建築</p>	  <p>株式会社 関根木材工業</p> <p>製材 建築</p>	  <p>株式会社 芳賀沼製作</p> <p>製材 建築</p>	   <p>株式会社 大桃 建設工業</p> <p>製材 製造 建築</p>
   <p>株式会社 オグラ</p> <p>製材 製造 建築</p>	 <p>株式会社 大橋工務店</p> <p>建築</p>	 <p>株式会社 丸惣建設</p> <p>建築</p>	 <p>株式会社 星工務店</p> <p>建築</p>
 <p>金中林産 合資会社</p> <p>製造</p>	 <p>有限会社 児山製作所</p> <p>製造</p>	 <p>株式会社 マストロ・ジェppet</p> <p>製造</p>	 <p>福島県郡山地区 木材木工工業団地 協同組合</p> <p>製造</p>
 <p>株式会社 二久室井木材店</p> <p>流通</p>			

お問い合わせ

南会津森林認証推進協議会

FORESTA

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字鎌倉崎乙36

TEL/FAX: 0241-64-5655 担当: 松澤 080-3231-8250



■ お問い合わせ

南会津森林認証推進協議会
FORESTA

〒967-0004
福島県南会津郡南会津町田島字鎌倉崎乙 36

TEL/FAX：0241-64-5655
担当：松澤 瞬 080-3231-8250